

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年7月9日（水）

2 確認箇所

- ・ 1号機原子炉建屋（1／2号機超高压開閉所から確認）（図1）
- ・ 大型機器点検建屋東側（図1）

3 確認項目

- （1） 1号機原子炉建屋大型カバーの設置状況
- （2） 給水車の運用状況

4 確認結果の概要

（1） 1号機原子炉建屋大型カバーの設置状況

1号機原子炉建屋からの使用済燃料取り出しは、建屋全体を覆う大型カバーを設置後に実施する計画である。現在、大型カバー設置工事のうち上部架構及びボックスリングの設置作業が行われていることから、その状況を確認した。

併せて、東京電力から大型カバー設置工事に使用するクレーンに関して下記の報告があったことから、その後の状況について確認した。（前回確認：令和7年7月1日）

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 6月16日、大型カバー鉄骨ブロック（ボックスリング）を1,250tクローラークレーン（以下「クレーン」という。）で1号機原子炉建屋東側へ設置している際に、クレーンの巻き下げ操作ができない状態を確認。・ 調査において、クレーンの油圧系統内に異物を確認。当該異物が混入したことにより必要な油圧を確保できないため、巻き下げ操作ができない状況であることを確認。・ その後、油圧コントロールユニットの交換、クレーンの作動油の交換ならびにフラッシングを実施し、クレーンの巻き上げ・巻き下げ操作に問題がないことを確認。・ 6月24日、クレーンとボックスリングの接続を解除し、吊天秤を地上に降ろし完了。 |
|--|

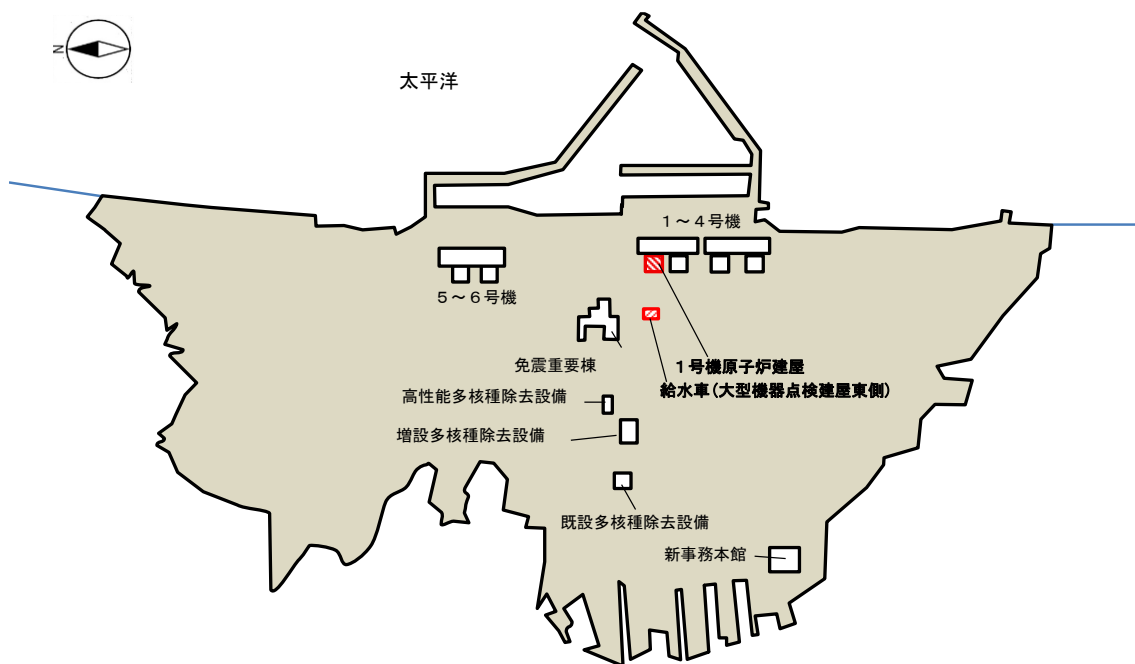
- ・ 前回確認時と比較して、ボックスリングの設置状況に進捗は見られなかった。（写真1）

- ・現場確認時にクレーンは使用されていなかった。東京電力によると作業中における不具合の防止に向けて、一旦作業を中断し、原因を調査しているとのこと。

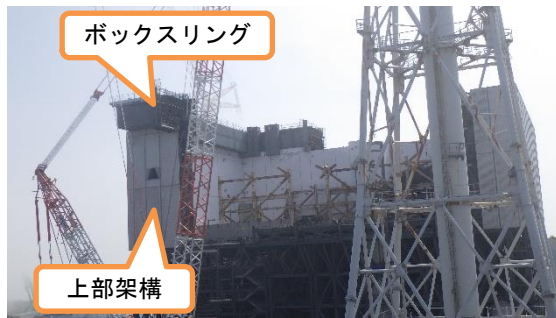
(2) 給水車の運用状況

熱中症対策の一環として管理対象区域内にいくつか設置されている給水所のうち、大型機器点検建屋東側に設置されている給水車の状況を確認した。なお、給水車は、プロセス主建屋西側道路で以前確認した運用方法と同様であった。（前回確認：[令和7年5月1日](#)）

- ・給水車の利用時間は9時から14時の間であり、その時間内であれば誰でも利用可能であった。（写真2）
- ・給水車の車内は、汚染のおそれのない管理対象区域に設定されていることから、車内に入る際は一人ひとりが全身の汚染検査を受ける運用となっていた。（写真3）
- ・車内にはスポーツドリンクを収納した冷蔵庫及び水を使用しない非常用トイレが設置されていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



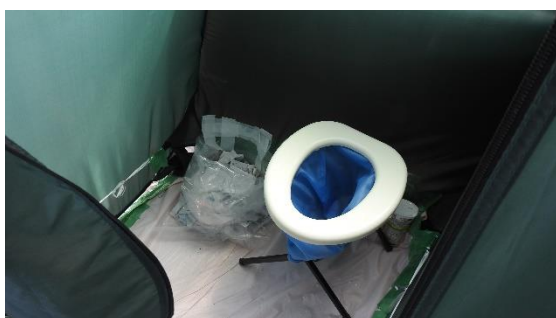
(写真1)
大型カバーの設置状況



(写真2)
給水車の状況



(写真3)
汚染検査の状況



(写真4)
トイレの設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。